



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 昇  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,184	△4.9	△1,488	—	1,309	—	853	—
2021年3月期第3四半期	20,167	△31.8	△1,315	—	△1,239	—	△1,046	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 883百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △1,000百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	56.72	—
2021年3月期第3四半期	△69.61	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,863	4,056	25.6
2021年3月期	17,198	3,163	18.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 4,056百万円 2021年3月期 3,163百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△7.7	△2,000	—	1,100	—	600	—	39.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当予想は今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示させていただきます。詳細につきましては、2022年2月14日に公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	16,774,841株	2021年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,731,825株	2021年3月期	1,739,625株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	15,039,472株	2021年3月期3Q	15,029,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	9
(2) 販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により厳しい状況にあり、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、2021年4月における3度目の緊急事態宣言の発出を受けた営業時間短縮及び外出自粛による来店客減少の影響で売上が減少し、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは、イートイン中心の外食産業からDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した総合食品企業への変革を目指し「デリバリー、テイクアウト等の中食産業での売上割合を高める施策」や「クレジットカード決済店舗の拡大及び各種電子マネーによる非接触決済の導入によるキャッシュレス決済の推進」等の施策を推し進めてまいりました。更に、外食業界横断一大プロジェクト「#外食はチカラになる」に参画し、各種キャンペーンを実施したほか、「平田牧場Wチャーシューめん」等の限定販売や11月に放送されたテレビ番組「ジョブチューン」の企画への参加により売上増強に努めるとともに、固定費管理の徹底等によるコスト削減に積極的に取り組み、収益性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は19,184百万円(前年同期比4.9%減)、営業損失1,488百万円(同営業損失1,315百万円)、経常利益1,309百万円(同経常損失1,239百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は853百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失1,046百万円)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、443店舗(前年同期比17店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

## ① ラーメン事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による限定営業の影響を受けながらも、ラーメン事業においては、「中華そば」、「中華そばプレミアム」、「餃子極」のコアメニューに加えて、「崑伝らーめん」、「クリーミー濃厚鶏白湯らーめん」、「ゆず塩野菜らーめん」等の期間限定商品を随時投入しました。また、ラーメン店舗に併設している「からあげ家」は、2019年6月福島県郡山市の「幸楽苑コスモス通り店」の outlet から2年6カ月で100店舗となりました。

また、店舗展開につきましては、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」に2店舗、「幸楽苑の家系らーめんトラック野郎 since2021」に2店舗業態転換いたしました。店舗数は、直営店403店舗(前年同期比12店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」398店舗、「KOURAKUEN THE RAMEN CAFE」1店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」2店舗、「幸楽苑の家系らーめんトラック野郎 since2021」2店舗となりました。

この結果、売上高は17,239百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

## ② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、店舗数は17店舗(国内12店舗、海外5店舗)となりました。その他外食事業につきましては、創業以来初の餃子バル業態である「餃子の味よし」に1店舗業態転換し、「焼肉ライク」直営店10店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店5店舗、「餃子の味よし」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は1,945百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて735百万円減少し、3,892百万円となりました。これは、現金及び預金が651百万円、流動資産「その他」に含まれる未収入金が297百万円減少し、売掛金が203百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて599百万円減少し、11,971百万円となりました。これは、リース資産が280百万円、敷金及び保証金が94百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が180百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,334百万円減少し、15,863百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,027百万円減少し、6,329百万円となりました。これは、買掛金が109百万円増加し、未払費用が665百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が1,420百万円、未払金が212百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて200百万円減少し、5,477百万円となりました。これは、長期借入金が183百万円増加し、固定負債「その他」に含まれるリース債務が267百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,227百万円減少し、11,806百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ893百万円増加し、4,056百万円となりました。これは、利益剰余金が853百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大しており、まん延防止重点措置が適用されていること等から、第3四半期累計期間までの業績を勘案のうえ、現状入手可能な情報や予測等に基づき2022年3月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2022年2月14日付「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,905,317	2,254,094
売掛金	365,517	568,841
棚卸資産	269,662	326,021
その他	1,087,080	743,261
流動資産合計	4,627,579	3,892,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,031,609	4,026,947
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産(純額)	2,130,219	1,849,255
その他(純額)	497,108	441,385
有形固定資産合計	8,021,949	7,680,602
無形固定資産	152,638	188,966
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,811,004	1,716,168
その他	2,586,236	2,386,774
貸倒引当金	△1,380	△1,380
投資その他の資産合計	4,395,860	4,101,563
固定資産合計	12,570,448	11,971,132
資産合計	17,198,028	15,863,350
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	822,524	931,916
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,112	1,097,111
未払費用	2,018,617	1,352,955
未払法人税等	85,987	254,979
店舗閉鎖損失引当金	36,753	25,453
転貸損失引当金	17,222	9,541
その他	3,363,204	1,657,134
流動負債合計	8,356,423	6,329,092
固定負債		
長期借入金	2,504,235	2,687,651
退職給付に係る負債	328,687	310,438
転貸損失引当金	30,188	15,235
資産除去債務	765,703	744,504
その他	2,048,886	1,719,476
固定負債合計	5,677,701	5,477,307
負債合計	14,034,124	11,806,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,084,016	3,084,016
利益剰余金	△401,281	451,785
自己株式	△2,403,329	△2,393,978
株主資本合計	3,267,678	4,130,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,952	4,746
退職給付に係る調整累計額	△108,727	△77,892
その他の包括利益累計額合計	△103,774	△73,146
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,163,903	4,056,951
負債純資産合計	17,198,028	15,863,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	20,167,825	19,184,970
売上原価	5,863,398	5,416,866
売上総利益	14,304,427	13,768,104
販売費及び一般管理費	15,620,379	15,256,924
営業損失(△)	△1,315,951	△1,488,819
営業外収益		
受取利息	11,681	8,555
固定資産賃貸料	375,712	330,028
新型コロナウイルス感染症による助成金	—	2,813,274
その他	163,750	110,367
営業外収益合計	551,144	3,262,226
営業外費用		
支払利息	40,991	57,324
固定資産賃貸費用	336,542	304,300
その他	97,252	102,528
営業外費用合計	474,786	464,153
経常利益又は経常損失(△)	△1,239,593	1,309,252
特別利益		
収用補償金	—	38,240
その他	137,088	19,052
特別利益合計	137,088	57,293
特別損失		
固定資産除却損	12,215	28,338
減損損失	384,506	36,783
その他	106,444	39,647
特別損失合計	503,165	104,769
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,605,669	1,261,776
法人税、住民税及び事業税	35,595	241,130
法人税等調整額	△594,880	167,579
法人税等合計	△559,284	408,709
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,046,384	853,067
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,046,384	853,067



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,046,384	853,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	781	△206
退職給付に係る調整額	45,402	30,835
その他の包括利益合計	46,184	30,628
四半期包括利益	△1,000,200	883,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,000,200	883,695
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(コロナウイルス関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2021年4月25日から6月20日まで、7月12日から9月30日までと緊急事態宣言が発出され、また、1月21日からは段階的に全国へまん延防止等重点措置が適用され現在も継続しております。当第3四半期連結会計期間においては、既存店の売上高及びお客様数はそれぞれ前年同期比96.5%、99.3%となりました。

感染症の収束時期が明確に見込めないことから、状況は改善するもののコロナ禍の影響は継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失の認識要否の判断等を行っております。

また、当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響に関する仮定について重要な変更はありません。

## 3. その他

## (1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大以降、緊急事態宣言の発出等の影響を受けて売上高が減少しております。当第3四半期連結会計期間において売上高は前年同期比でほぼ横ばいで推移し、継続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、イートイン以外での商品提供の拡充、新規事業の立上げ及び、人件費を含めての固定費の削減等を実施することにより営業損失を解消させる計画であり、また金融機関と締結しているコミットメントライン契約等によって十分な運転資金を確保していることから、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

## (2) 販売の状況

## ① 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別	前第3四半期 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日		当第3四半期 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		(参考) 前期 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
品 目		%		%		%
直営店売上						
らーめん類	10,388,774	51.5	9,627,090	50.2	13,625,575	51.3
セット類	4,032,075	20.0	3,782,911	19.7	5,247,764	19.8
ギョーザ	1,407,926	7.0	1,196,804	6.2	1,894,631	7.1
ごはん類	682,241	3.4	679,260	3.5	926,041	3.5
ドリンク類	416,371	2.1	255,235	1.3	526,819	2.0
洋・和食類	1,468,816	7.3	1,126,171	5.9	1,923,709	7.2
その他	1,397,994	6.9	2,070,471	10.8	1,917,650	7.2
計	19,794,201	98.2	18,737,944	97.6	26,062,193	98.1
F C店等材料売上	334,807	1.7	413,662	2.2	451,717	1.7
ロイヤリティ収入	29,723	0.1	29,216	0.2	40,179	0.2
そ の 他	9,093	0.0	4,146	0.0	11,813	0.0
合 計	20,167,825	100.0	19,184,970	100.0	26,565,903	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。  
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

## ② 地域別販売実績

(単位：千円)

期 別	前第3四半期 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日			当第3四半期 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日			(参考) 前期 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日		
	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数
地域別		%	店		%	店		%	店
東北	6,878,229	34.7	142	6,428,194	34.3	139	9,041,370	34.7	141
関東	10,184,801	51.5	247	9,795,638	52.3	236	13,423,150	51.5	243
東海	869,227	4.4	17	829,621	4.4	15	1,162,874	4.5	17
北陸甲信越	1,482,038	7.5	34	1,391,295	7.4	33	1,954,308	7.5	33
関西	379,903	1.9	3	293,195	1.6	3	480,489	1.8	3
計	19,794,201	100.0	443	18,737,944	100.0	426	26,062,193	100.0	437

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。  
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。